

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社 ニッピ
 コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 桂作
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之

TEL 03-3888-5117

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,094	22.2	582	46.6	577	45.3	4,129	451.6
2020年3月期第2四半期	21,973	0.8	1,090	448.1	1,055	269.8	748	476.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 4,165百万円 (558.6%) 2020年3月期第2四半期 632百万円 (410.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	1,435.67	
2020年3月期第2四半期	260.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	67,807	32,547	47.2
2020年3月期	67,652	28,528	41.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 31,995百万円 2020年3月期 27,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		50.00	50.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	5.7	1,100	40.7	1,000	42.3	4,300	238.3	1,494.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) ニッピコラーゲン工業株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,889,000 株	2020年3月期	2,889,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	12,833 株	2020年3月期	12,740 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,876,238 株	2020年3月期2Q	2,876,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍による景気閉塞感の続くなか業種によって回復に大きな差がみられました。一部の業種では新しい需要がみられたものの、景気全般の回復は感染拡大防止対策と経済活動の調整が続き、不透明な状況で推移いたしました。

また、海外諸国の経済活動の足取りも重く、インバウンド需要は入国規制の継続によりほぼゼロの状態が持続し、個人消費は、GoToキャンペーンなど政府による需要掘り起こし策などにより外食や旅行、レジャー関連などへの支出の持ち直しが期待されるものの、失業率の上昇や賃金の下振れなど所得環境の悪化により、以前の水準を下回る状況が長期化することも懸念されており、景気回復ペースは緩やかになると見込まれております。

このような経営環境のもと、当社グループにおいても新型コロナウイルス感染症の影響を受け、靴用革はアパレル業界全般の不振、ハンドル用革は自動車メーカーの減産、イタリア食材は外食産業の低迷の影響を受け苦戦いたしました。また、ゼラチン、ペプタイドにおいても、内需はインバウンド消費減の影響を受けており、輸出販売は、コロナ禍が海外取引に大きなブレーキとなり大幅に減少したものの、徐々に回復傾向にあります。

一方で、コロナ禍のなか健康志向の一層の高まりや通信販売の強みもあり「ニッピコラーゲン100」は好調に推移、有機穀物は安定的な需要、iMatrixシリーズは市場規模の拡大に伴い順調に推移いたしました。また、コラーゲン・ケーシングは、国内需要はフランクサイズを中心に業務用が低迷したものの、海外販売における価格改定や製造コスト低減などの効果により収益性は改善されました。

なお、賃貸・不動産事業では、2020年3月27日公表の「固定資産の譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」に記載の通り、2020年4月27日に東京都足立区再開発地区内の一部を住居用途として売却いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、17,094百万円(前年同四半期比22.2%減)となりました。

また、営業利益は、582百万円(同46.6%減)、経常利益は、577百万円(同45.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,129百万円(同451.6%増)となりました。

なお、当社の連結子会社でありました鳳凰事業株式会社及びニッピコラーゲン工業株式会社は、2020年4月1日付で当社を存続会社とした吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、期初に観光地や行楽地への人出が減少したことでフランクサイズが低調であったことから厳しい状況で推移しました。輸出販売は、海外他社と競合のなか、収益改善に取り組みながら順調に推移しました。

また、生産面では製造コストの低減により収益性が改善しております。

この結果、売上高は、4,161百万円(前年同四半期比17.7%減)、営業利益は、492百万円(同8.5%減)となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチンは、コロナ禍の影響でグミ用、カプセル用、惣菜用ともに消費活動の停滞から低調に推移いたしました。また、ペプタイドにおいても、国内市場におけるインバウンド需要減少による影響と輸出販売の大幅減により苦戦いたしました。

この結果、売上高は、3,969百万円(同20.5%減)、営業利益は、345百万円(同28.2%減)となりました。

③ 化粧品関連事業

化粧品は、コロナ禍の影響で在宅率が増加したことや消費マインドの低下などから減少しましたが、一方で、健康食品は、通信販売の需要増加と健康志向の高まりを背景に順調に推移しました。

なお、広告宣伝費は、コロナ禍により宣伝効率が低下傾向であったことから効率の良い媒体に絞り込みました。

この結果、売上高は、2,371百万円(同1.7%増)、営業利益は、217百万円(同163.9%増)となりました。

④ 皮革関連事業

靴用革の販売は、外出自粛やテレワークなど生活様式の変容に伴い、革靴の需要が激減した影響を受けて低迷いたしました。

また、自動車ハンドル用革におきましても、中国市場はほぼ回復したものの、国内市場は自動車の減産などの影響を受けて減少しました。

この結果、売上高は、2,473百万円(同50.6%減)、営業損失は、10百万円(前年同四半期は営業利益194百万円)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場、仮設中学校などの用地として活用しております。なお、2020年4月27日に同再開発地区内のE街区は、タワーマンション用途として売却いたしました。

また、大阪市浪速区の土地賃貸事業では、ホテル建設に向けた工事が着工されました。同地区の残地についても新規事業の着手に向け、埋蔵文化財の発掘調査を行いました。

この結果、売上高は、351百万円(前年同四半期比11.7%減)、営業利益は、251百万円(同21.1%減)となりました。

⑥ 食品その他事業

有機穀物、iPS細胞関連は好調に推移したものの、イタリア食材は、外出自粛要請や外食産業の営業自粛の影響で前年同期を大きく下回りました。

この結果、売上高は、3,768百万円(同9.9%減)、営業利益は、82百万円(同35.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、67,807百万円となり、前連結会計年度末と比べ155百万円増加しました。これは主に棚卸資産が353百万円増加し、土地の売却などにより現金及び預金が4,963百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,317百万円減少、そのほか、未収消費税等が583百万円、土地の売却と補助金による固定資産の圧縮を含め有形固定資産が2,875百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、35,260百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,863百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が2,711百万円、短期借入金が2,374百万円、再評価に係る繰延税金負債が414百万円減少した一方で、未払法人税等が1,950百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、32,547百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,018百万円増加しました。これは主に土地の売却により利益剰余金が4,924百万円増加し、土地再評価差額金が939百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2020年11月9日)公表いたしました「2021年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月22日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,180	9,144
受取手形及び売掛金	7,630	6,312
商品及び製品	8,001	8,328
仕掛品	641	704
原材料及び貯蔵品	1,868	1,831
未収還付法人税等	6	3
未収消費税等	844	260
その他	595	344
貸倒引当金	△75	△44
流動資産合計	23,693	26,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,359	8,961
機械装置及び運搬具(純額)	2,272	1,863
土地	27,490	25,442
リース資産(純額)	28	18
建設仮勘定	76	67
その他(純額)	165	163
有形固定資産合計	39,392	36,517
無形固定資産		
リース資産	124	109
その他	196	190
無形固定資産合計	320	300
投資その他の資産		
投資有価証券	3,670	3,695
長期貸付金	33	26
繰延税金資産	249	96
破産更生債権等	8	8
その他	378	367
貸倒引当金	△96	△91
投資その他の資産合計	4,244	4,103
固定資産合計	43,957	40,920
繰延資産	1	1
資産合計	67,652	67,807

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,843	5,132
短期借入金	10,431	8,056
リース債務	44	36
未払法人税等	259	2,209
未払消費税等	39	37
賞与引当金	466	444
役員賞与引当金	53	47
ポイント引当金	52	52
その他	1,607	1,209
流動負債合計	20,798	17,227
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	9,296	9,600
長期未払金	807	734
リース債務	116	98
繰延税金負債	905	794
再評価に係る繰延税金負債	4,059	3,644
役員退職慰労引当金	532	550
退職給付に係る負債	2,232	2,236
資産除去債務	6	6
その他	171	168
固定負債合計	18,325	18,033
負債合計	39,124	35,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	12,533	17,458
自己株式	△38	△38
株主資本合計	18,830	23,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	664	693
繰延ヘッジ損益	9	17
土地再評価差額金	8,746	7,806
為替換算調整勘定	62	18
退職給付に係る調整累計額	△323	△296
その他の包括利益累計額合計	9,159	8,240
非支配株主持分	538	551
純資産合計	28,528	32,547
負債純資産合計	67,652	67,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	21,973	17,094
売上原価	16,916	12,712
売上総利益	5,057	4,381
販売費及び一般管理費	3,967	3,799
営業利益	1,090	582
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	92	51
持分法による投資利益	3	-
補助金収入	-	35
その他	24	23
営業外収益合計	123	112
営業外費用		
支払利息	97	76
手形売却損	14	11
為替差損	21	14
持分法による投資損失	-	1
その他	23	12
営業外費用合計	157	117
経常利益	1,055	577
特別利益		
固定資産売却益	-	5,288
国庫補助金	-	251
特別利益合計	-	5,540
特別損失		
固定資産除却損	1	0
固定資産圧縮損	-	229
出資金評価損	-	3
会員権評価損	1	-
土地開発関連費用	110	49
特別損失合計	113	284
税金等調整前四半期純利益	941	5,833
法人税、住民税及び事業税	190	2,085
法人税等調整額	△19	△392
法人税等合計	170	1,692
四半期純利益	771	4,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	748	4,129

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	771	4,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97	29
繰延ヘッジ損益	△17	11
為替換算調整勘定	△43	△43
退職給付に係る調整額	20	27
その他の包括利益合計	△138	24
四半期包括利益	632	4,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	613	4,150
非支配株主に係る四半期包括利益	18	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	941	5,833
減価償却費	753	706
繰延資産償却額	1	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△35
賞与引当金の増減額(△は減少)	△63	△21
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	△6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	58	42
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	16	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	18
受取利息及び受取配当金	△95	△53
支払利息	97	76
為替差損益(△は益)	6	△1
持分法による投資損益(△は益)	△3	1
固定資産売却損益(△は益)	-	△5,288
固定資産除却損	1	0
固定資産圧縮損	-	229
出資金評価損	-	3
会員権評価損	1	-
土地開発関連費用	110	49
国庫補助金	-	△251
売上債権の増減額(△は増加)	△280	1,298
たな卸資産の増減額(△は増加)	△217	△366
仕入債務の増減額(△は減少)	△329	△2,689
未払又は未収消費税等の増減額	14	594
その他	182	786
小計	1,193	929
利息及び配当金の受取額	94	52
利息の支払額	△96	△73
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	74	△201
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,266	706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△350	△245
有形固定資産の売却による収入	-	6,606
無形固定資産の取得による支出	△70	△12
貸付けによる支出	△0	-
貸付金の回収による収入	0	1
補助金の受取額	-	251
その他	△22	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443	6,600

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△866	△2,104
長期借入れによる収入	2,500	2,500
長期借入金の返済による支出	△2,401	△2,449
社債の償還による支出	△80	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△143	△143
非支配株主への配当金の支払額	△4	△2
リース債務の返済による支出	△16	△26
長期未払金の返済による支出	△111	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,125	△2,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△313	4,963
現金及び現金同等物の期首残高	3,948	4,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,635	8,971

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2020年4月1日付で当社を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社である鳳凰事業株式会社及びニッピコーラーゲン工業株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。これにより、第1四半期連結会計期間から鳳凰事業株式会社及びニッピコーラーゲン工業株式会社を連結の範囲から除外しております。